

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	- 23 (10)	現在、ケアプランが個人ファイルにそれぞれファイリングされており、スタッフが常に目に触れるところに目標が書かれていないため、日常のケアの中でプラン目標や本人・ご家族の意向を忘れがちになってしまっている。	日々のケアの中で全スタッフがケアプランを意識できるような方法に変更する	現在、個人別にファイリングしてあるケアプランより目標+具体的支援を抜粋し、一覧表にして改定。また、入居者記録・週間個人記録ファイルに綴じこむことで、常に全スタッフの目に入る場所にする事でより目標を意識したケアを行うことができるような仕組みに変更する。	6ヶ月
2	- 23 (9)	昨年度の目標として、個別外出をスタートさせたが、「外に行くこと」に重きを置きがちになり、「本人の思いや意向の把握」を生かしたものになっていない。目的の再確認と見直しが必要。	担当入居者の思いや意向を把握することを通じて、個別外出の目的の再確認し実行する。	スタッフMTにて、再度目的見直し・話し合いを行う。その後、全スタッフが再度、担当入居者と向かい合いその人が今望んでいることを(=思いや意向の把握)把握し個別外出というものに繋げられるようにする。	12ヶ月
3	- 52 (19)	現在、各入居者のお部屋には、同じ名前の紙を掲示しているが、運営方針でもある「大きな家」という視点から考えると好ましくない。またご入居者によってはその掲示されているものでご自分のお部屋だと認識できていない方も多いため、仕様を検討する必要がある。	個々のご入居者らしいお部屋表札に変更する。	その人がどの仕様であればご自分のお部屋であると認識できるのかを、日常の中での関わり、アクティブ、等を通し、各担当者で検討する。一番認識してもらえるもの、その人らしさが出るものに表札を変更することをゴールとする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。